

2026年2月9日
イオン株式会社

常滑市とイオン株式会社との連携及び協力に関する包括連携協定締結について

住民サービスの一層の向上、地域活性化に向け連携を強化

イオン株式会社（取締役 代表執行役社長：吉田 昭夫）と、愛知県常滑市（市長：伊藤 辰矢）は2026年2月9日、連携及び協力に関する包括連携協定を締結します。

イオンと常滑市は、これまで「イオンモール常滑」において、「認知症パネル展」や「認知症サポーター養成講座」の開催や、高校生によるお茶会や陶芸作品展の開催など連携し取り組みを行ってまいりました。

【主な連携事項】

- (1) 子ども・学生・青少年の育成に関すること
- (2) 地域、暮らしの安全・安心に関すること
- (3) 文化・観光・産業・農業の振興に関すること
- (4) 高齢者福祉・障がい者福祉・健康増進に関すること
- (5) 地産地消に関すること
- (6) 環境保全に関すること
- (7) デジタル活用に関すること
- (8) 住民サービスの向上及び地域の活性化に関すること
- (9) その他の取組への協力事項に関すること

包括連携協定の締結を機に、「健康習慣に関する市民講座」の開催など高齢者支援の取り組みや学生の活動発表の場として施設を活用いただくなど、これまで以上に市と連携して取り組みます。今後は、本協定の締結を通じて相互の連携を強化することにより、多様な分野で連携し協働による取り組みを推進してまいります。

■これまでの常滑市とイオンの取り組み例

【認知症啓発活動の実施】

2025年9月、認知症に関する啓発を目的に「イオンモール常滑」にて、市内施設の入所者さまによる作品やメッセージなどを掲示する「認知症パネル展」を開催。約200名のお客さまにご来場いただきました。同日には「認知症サポーター養成講座」を実施し、多くの方に受講いただきました。



以上